

平成28年度事業報告

一般社団法人 日本パラサイクリング連盟

平成28年度は、パラリンピック・イヤーということで、前半はリオパラリンピックに向けて出場選手の強化を重点的に、また2020東京パラリンピックに向けて選手の発掘や強化体制の組織化に力を入れた。

国際大会への出場は、今年度は、海外のテロ等の安全を考慮し、ワールドカップの参加を見合わせ、リオパラリンピックとトラック世界選手権に限った。

リオパラリンピックでは、ロードタイムトライアルにおいて鹿沼由理恵・田中まいペア、藤田征樹が銀メダルを獲得し、参加した選手全員が入賞を果たした。ロンドンパラリンピック以降、選手の発掘、強化に力を入れてきた結果が出せたことは大きな成果である。

昨年度、国内で初めてのパラサイクリングの国際大会、ジャパンパラサイクリングカップを開催したが、2回目となる今年度はリオパラリンピックの直後ということもあり、海外選手の参加は見送って国内大会とし、一般の方との交流を深める大会とした。

また、強化体制の組織化においては、各専門スタッフを迎え、各専門分野を活かした日本チームとして選手の強化に当たる体制整備も進めた。各専門スタッフの参加によりチームへの指導のみならず、選手個人に対して、メンタル、栄養、フィジカルなど個別にも対応でき、競技への取り組みの基礎から見直すことにつながった。

選手の発掘においては、静岡県、東京都、北海道等、各地で発掘事業を開催し、新たに競技に取り組む選手を発掘することができた。

パラサイクリングの普及活動においては、静岡県、三重県、山口県等、各地で様々な関係者の方々にご協力頂きながら、パラサイクリングの競技紹介や体験会を通じて普及を行った。多くの方へパラサイクリングという競技を広め、興味・関心を持って応援・支援頂けるよう努めた。

多くのスポンサー企業、関係協力団体、関係者の方々から温かいご支援・ご協力のおかげで、強化体制の基盤作り、選手強化、パラサイクリングの普及を行うことが出来た。

(1) 選手強化事業

【国際大会派遣】

大会名 2016リオ・パラリンピック
派遣期間 平成28年8月30日～9月22日
派遣人数 選手5名(内、パイロット1名) スタッフ4名
開催場所 リオデジャネイロ(ブラジル)
成績 銀メダル2個、入賞5名(内、パイロット1名) 7種目

大会名 2017UCIパラサイクリング・トラック世界選手権
派遣期間 平成29年2月26日～3月7日
派遣人数 選手3名 スタッフ5名
開催場所 ロサンゼルス(アメリカ)
成績 銀メダル1個、銅メダル1個、入賞3名

【国内大会】

大会名 2016日本パラサイクリング選手権大会トラック大会
大会日程 平成28年4月16日
場所 静岡県伊豆市 伊豆ベロドローム

大会名 2016日本パラサイクリング選手権大会ロード大会
大会日程 平成28年6月28日
場所 東京都大島町

大会名 ジャパン・パラサイクリングカップ2016(トラック・ロード)
派遣期間 平成28年11月3日
派遣人数 選手12名(ロードTT一般参加選手18名)
開催場所 静岡県伊豆市 日本サイクルスポーツセンター

【国内強化合宿】

期間 平成28年4月～平成29年3月末まで30回
場所 静岡県 日本サイクルスポーツセンター他
参加者 強化選手1～10名 スタッフ1～8名

【強化会議】

実施期間 平成28年4月から29年3月末にかけ5回程度

※(1)の事業に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)から、総額24,803,000円の助成を受けた。

(2) パラサイクリング普及・発掘事業 発掘・普及イベント

期 間 平成28年4月～平成29年3月末まで7回
場 所 日本サイクルスポーツセンター、山口、北海道 他

※(2)の事業に対して、一般財団法人日本財団パラリンピックサポートセンターから、総額1,796,875円の助成を受けた。

(3) 組織体制整備

組織運営・体制整備に対して、一般財団法人日本財団パラリンピックサポートセンターから、総額4,804,800円の助成を受けた。